

第4回 豊岡市竹野地域小中一貫校開設準備委員会 会議録（要旨）

- I 日時** 2023年12月4日（月）19時00分～21時00分
- II 場所** 豊岡市役所 竹野庁舎 大会議室
- III 出席者** <<委員>>16名（委員名簿順）
田中博文委員長、古保治郎委員、田村高志委員、富森孝委員、仲治寿幸委員、大井真由美委員、宮崎裕紀委員、太田垣輝尚委員、辻正孝委員、山本英里子委員、長谷川博子委員、福田達也委員、高田健一郎委員、宇川博久委員、間智子委員、小林昌弘委員
（欠席）加藤未来副委員長、上野真希委員、増田克志委員、上田彩乃委員
<<オブザーバー>>1名
米田達也豊岡市議会議員
<<事務局>>6名
正木一郎教育次長、木之瀬晋弥課長（教育総務課）、野崎律男参事（同）、加藤哲夫主幹（同）、川瀬貴之係長（同）、今井雄一主査（同）
- IV 傍聴者** なし
- V 内容**
- 1 開会
 - 2 挨拶
委員長から挨拶。
 - 3 議事
 - (1) 協議・確認事項
 - ア 学校名の選考について
児童・生徒から応募があった学校名について、竹野地域の義務教育学校としてふさわしいと思われる学校名と選考理由を各委員から発表・意見交換した結果、開設準備委員会として候補を3点に絞り込んだ。
【学校名候補】 ①竹野学園、②竹野小中学校、③竹野なぎさ学園
3点の候補名について、選考理由も含めて教育委員会会議に諮り、最終候補が選出される。
※各委員の選んだ学校名と選考理由については、「VI 主な発言内容等(要旨) (1) 学校名の選考について意見交換」のとおり。
 - イ 校歌・校章の検討について
校歌と校章の決め方について、①校歌は竹野中学校の校歌をそのまま使えないか、②校章は竹野中学校の生徒に応募してもらってはどうか、という委員からの提案について、竹野中学校と竹野小学校の校歌を聴いたうえで、意見交換をおこなった。
※各委員からの意見等については、「VI 主な発言内容等(要旨) (2) 校歌・校章について意見交換」のとおり。
 - (2) 報告事項
 - ア 学校応援部会、教育課程検討部会の協議状況について

事務局から、各部会の取組内容と進捗状況等について説明した。

イ 校舎整備の概要（案）について

事務局から現時点での校舎整備の概要について資料のとおり説明し、意見交換をおこなった。

※各委員からの意見等については、「Ⅵ 主な発言内容等(要旨) (3) 校舎整備の概要(案)について意見交換」のとおり。

4 次回予定

2回目のワークショップ終了後、あらためて日程調整する。

5 閉会

教育次長から閉会の謝辞。

Ⅵ 主な発言内容等（要旨）

(1) 学校名の選考について意見交換

《委員長》

小中学校の児童生徒から寄せられた学校名候補の中から、各委員が選んだ学校名と選んだ理由について、順に発表をお願いする。

発言者	選んだ学校名	選んだ理由
《A委員》	①竹野小中学校 ②竹野学園	①分かりやすい。学校は新しくなるが、これまでの竹野小学校・竹野中学校の名残を残したい。 ②シンプルで分かりやすい。
《B委員》	①竹野学園 ②竹野小中学校	①小学校・中学校の枠にとらわれないよう、ひとつの学校として広がりのあるイメージを持つ事が出来る。 ②伝えやすく、分かりやすい。
《C委員》	①たけの小中学校 ②竹野なぎさ学園	①まだまだ義務教育学校が浸透していないので、小中学校の方が分かりやすい。 ②竹野学園は高齢者の活動で使われている。海ばかりではないが、竹野の特徴として「なぎさ」を間に入れてはどうか。
《D委員》	①竹野なぎさ学園	①竹野学園は高齢者の活動で使われている。竹野といえば海のイメージ。
《E委員》	①竹野小中学園 ②竹野学園	①小学校と中学校が一緒になることから。 ②シンプルで分かりやすい。
《F委員》	①竹野学園 ②竹野小中学校	①現在の小学校・中学校どちらにも共通している「竹野」を使い、新しく義務教育学校が出来ることから学園。 ②小学校と中学校が一緒になるのでシンプルに小中学校。
《G委員》	①竹野小中学校	①②「学校」という名称を残したい。きちんと

	②竹野義務教育学校	相手に伝わる。
《H委員》	①竹野学園 ②竹野小中学校	①「竹野」は必ず入れてほしい。竹野地域に新しく出来る義務教育学校のイメージに合致している。 ②竹野地域の学校として単純明快。
《I委員》	①竹野小中学校 ②竹野なぎさ学園	①馴染みやすく、言いやすい。 ②ひらがなで柔らかい感じ。オリジナルでよい。
《J委員》	①竹野学園 ②たけの学園	①②子どもの意見。覚えやすい。
《K委員》	①竹野小中学校 ②竹野なぎさ学園	①分かりやすい。 ②新しい学校のイメージと海のイメージ。
《L委員》	①竹野学園	①シンプルで一体感がある。同じ名前が使われているのであれば、竹野をひらがなにして区別する方法もある。
《M委員》	①竹野なぎさ学園	①竹野学園は高齢者の活動で使われており紛らわしい。
《N委員》	①竹野学園 ②竹野なぎさ学園	①②他の委員と同じ。
《O委員》	①竹野小中学校 ②竹野学園	①小中一貫校としてイメージが付きやすい。 ②学園は全国的に採用数が多く、シンプルで分かりやすい。
《P委員》	①竹野小中学校 ②竹野義務教育学校	①②少しかたいが「学校」をつけた方がよい。
《オブザーバー》	①竹野小中学校 ②竹野学園	①②シンプルでいつまでも使い続けられる名前。

《事務局》

本日欠席の委員で、事前に報告のあった意見は次のとおり。

Q委員：①竹野学園

R委員：①竹野小中学校、②竹野総合学園

S委員：①竹野海晴学園、②竹野学園

《委員長》

本日の開設準備委員会で、学校名の候補を3点程度に絞りたい。各委員の意見で多かった「竹野学園」「竹野小中学校」「竹野なぎさ学園」の3点に絞り、教育委員会に諮ることとよい。

《事務局》

教育委員会で審議するにあたり、候補を示すだけでは教育委員に意図が伝わりにくいと思われる。開設準備委員会としてこの学校名を選んだ理由や思いも、あわせて提案してもらいたい。

《委員長》

3点の候補について、他の委員の意見などもふまえたうえで、再度、各委員から意見や思いを聞きたい。

《C委員》

高齢者の活動で使われている「竹野学園」については、候補から外した方がよいのではないか。

《K委員》

義務教育学校が、6・3制になるか、別の区切りになるか決まっていない段階で、6・3制でなくなるのであれば、「竹野小中学校」という学校名は少し気になる。

《C委員》

これまでの伝統とか、他の小学校・中学校との比較において、「竹野小中学校」にした方が分かりやすいのではないか。

《D委員》

部活動の大会などで紹介される際に、「竹野小中学校」と呼ばれると、中学生なのに小学生と思われそう。

《A委員》

児童・生徒の応募件数が全てではないが、「竹野小中学校」という学校名も多く提案されており、児童・生徒としては抵抗がないと思われる。個人的にも、これまでの歴史を引き継ぐ形で「竹野小中学校」がよいと思う。

《委員長》

「竹野なぎさ学園」となった場合、なぎさは海のイメージだが、中竹野地区・竹野南地区の委員の思いはどうか。

《F委員》

竹野全体を考えたときに、特定の地区だけを突出するような校名よりも、竹野を総称するような校名がよいと考え、「竹野学園」「竹野小中学校」を選んだ。「竹野なぎさ学園」は、竹野全体を考えたときには無しと思った。

《B委員》

「竹野学園」とするならば、竹野と学園の間に言葉を入れた方がよい気がするが、その言葉が出てこなかった。過去から竹野町は海のまちとして、渚百選などにも選ばれている。そのイメージでいくと差支えないように思うが、長い目で見ても適切かどうかは決められなかった。

《G委員》

全国的には「〇〇学園」が多く、京都府では「〇〇小中学校」が多いようだ。K委員の意見を聞いて、「竹野小中学校」とすると小学校6年間、中学校3年間のイメージが付いてしまうので、6・3制ではない場合、「竹野小中学校」はちょっとどうかなと思った。学校名の前には「豊岡市立」が必ず付く。それも含めて考えると、「豊岡市立竹野学園」の響きはいいのかなと思った。「豊岡市立」と付くことで、高齢者の活動とも区別出来るのでは。

《I委員》

児童・生徒からの意見をあらためて見ていると、「竹野にじいろ学園」というのがある。

理由に“虹色みたいな明るい学校になってほしいから”とあり、竹野全体に橋を架けるようなイメージの言葉を、竹野と学園の間に入れられたらと思う。

《J委員》

I委員と話していて、子ども達が明るく元気で、小学校と中学校の橋渡しが出来るような、今までにないワクワクするイメージの「竹野にじいろ学園」に惹かれた。

《E委員》

豊岡市立と付くのであれば、個人の主観だが「竹野学園」がよいと思う。

《H委員》

対外的な部分も非常に重要。中学生が部活動で外に出ていくとき、思いや背負っていくものがある。オールマイティで単純明快で分かりやすい、竹野を象徴するような校名がよい。

《L委員》

「竹野〇〇学園」の〇〇に入るような言葉を考えたが浮かばなかった。思いが伝わるようなものならばよいが、分かりにくいようであればシンプルな方がよい。シンプルに「竹野学園」がよい。

《M委員》

高齢者の活動と重複しないように、「竹野なぎさ学園」としたが、重複しないようにするのであれば「竹野みらい学園」などもよいと思う。

《N委員》

義務教育学校にするか小中一貫校にするかの長い議論があった中で、あえて「小中学校」という名称を使わずに、「学園」とした方がよいと思う。

《O委員》

分かりやすい方がよいと思い「竹野小中学校」を1番目とした。2番目を「竹野学園」としていたが、意見を聞く中で、竹野と学園の間に何か言葉を入れた方がよいと思った。

《オブザーバー》

豊岡市で初めての小中一貫校であり、先例となることから、シンプルに「竹野学園」のような校名がよいと思う。

3点の候補について、あらためて子ども達に意見を求めることはあるのか。アンケートなどを実施しては。

《事務局》

ひとつの方法ではあると思うが、子ども達の意見で一番多かったものにならなかった場合、疑義が出る恐れがある。

《委員長》

再度子ども達に聞くと、振り出しに戻る恐れがある。開設準備委員会の委員の意見として、この場で決めてもらった方がよい。

《B委員》

確認だが、学校名を決定する時期はいつ頃になるのか。今後のスケジュールは。

《事務局》

本日、3点程度に絞り込みが出来た場合、12月21日に開催される定例教育委員会に諮り、ひとつの学校名を選定する。この時点では仮称で、最終的に決定するのは市議会で条

例改正が可決された時点。遅くとも来年の12月議会、開設準備委員会の進捗によっては9月議会も考えている。

《B委員》

(条例改正の) 1年前の12月に決めなければいけない理由は、もう少し先になった場合は。

《事務局》

学校名が決まってから、学校名のイメージをもって校歌・校章を決める流れになるため、この時期には学校名を決めたい。

《L委員》

学校に勤務する立場として、先ほど児童生徒の意見を聞いてはどうか、という提案があったが、最終的に全員がひとつの意見になる事はないと思っている。それぞれの思いがあり、多数決みたいなこともある。どこかで決めなければならぬのであれば、最初に学校名を決めて、その名前にふさわしい学校を作っていく方が、子ども達も気持ちをのせて取り組みやすい。最初に学校名が決まる方がありがたい。

《C委員》

“コミュニティたけの”のFacebookによると、現在も「竹野学園」の名称で活動をされているようなので、「竹野学園」が選ばれた場合は、コミュニティにもしっかりと伺いを立てたほうがよいと思う。

《委員長》

開設準備委員会で絞り込んだ3点の候補について、各委員から出された意見をふまえて、教育委員会で総合的に判断してもらおう。

(2) 校歌・校章について意見交換

《事務局》

委員から提案があった、竹野中学校の校歌をそのまま使ってはどうかという意見の背景には、学校名が歌詞に入っていないことや、馴染みがあるといったことが考えられる。校歌を新しく作るのか、竹野中学校の校歌をそのまま使用するのか等について、意見交換をお願いしたい。

《A委員》

竹野中学校の校歌を使うのがよいと思う。新たに校歌を作るのは大変な作業。学校は新しくなるが、これまでの学校を継承していくという意味でもよいと思う。

《B委員》

竹野中学校の校歌でよいと思うが、小学校低学年の子どもが馴染めるのかどうか気になる。

《C委員》

竹野小学校か竹野中学校の校歌がよいと思う。竹野小学校の校歌を、という提案はなかったのか。

《事務局》

そういう提案もあったが、竹野地区(浜地区)のみを連想させる歌詞という意見だった。

《D委員》

竹野中学校の校歌でよいと思う。

《E委員》

竹野中学校の校歌でよいという思いと、新しい義務教育学校になるので、この際、今の時代にあわせた新しい校歌にしてほしいという思いがある。

《F委員》

竹野中学校の校歌でよいと思う。新しいものは現場が大変。

《G委員》

竹野中学校の校歌でよいと思う。歌詞のとおり、城山の峰には金星が見える。学園という言葉も入っており、学校名が「〇〇学園」となった場合も問題ない。

《H委員》

歌詞を見る限り、違和感はないと思う。城山の部分が少し気になるが、竹野地域全体を表現していると思う。

《I委員》

竹野中学校の校歌を初めて聴いて、良い歌詞だと思った。

《J委員》

竹野中学校の校歌でよいと思う。

《K委員》

小学校低学年が馴染めるかどうか気になる。竹野小学校の校歌も悪くないと思う。

《L委員》

竹野中学校の校歌をそのまま使うのであれば、今の生徒達が卒業しても、母校の校歌の愛着につながるし、これまで卒業された方々にも馴染みがある。新しく校歌を作るとなると、歌詞に対してたくさんの意見が出て、作詞する人は大変だと思う。

《M委員》

竹野中学校の校歌でよいと思う。

《N委員》

小学校入学前の園児に、言葉の意味を伝えながら校歌の練習をしているが、竹野中学校の校歌になると少し大変かなと思う。

《O委員》

竹野中学校の校歌でよいと思う。

《P委員》

海や山という言葉が使われており、竹野中学校の校歌でよいと思う。

《オブザーバー》

竹野中学校の校歌でよいと思う。

《事務局》

校歌については、各委員の意見を持ち帰り、学校名が決まった後にあらためて協議をお願いする。

引き続き校章について、竹野中学校の生徒から案を出してもらってはどうかという提案があったが、現在竹野中学校に美術の先生がいないため、少し難しいということだった。他市町の事例をみると、簡単なラフデザインを募集しているところはあった。

《L委員》

完成されたものをデザインするのは難しいが、アイデアを採用してもらうことなどを含めて、子ども達の意見を聞いてもらう良い機会だと思う。

《事務局》

生徒からアイデアを募ることも選択肢のひとつとして、あらためて協議をお願いする。

(3) 校舎整備の概要（案）について意見交換

《H委員》

体育館からランチルームにかけて、結露がひどい。何か対策は検討しているか。また、鹿に対して防護柵などの対策は。

《事務局》

外壁全体を、遮熱効果のある塗装での改修を予定している。鹿の被害についても把握しており、あらためて検討したい（今回はひとまず施設整備についてのみ）。

《K委員》

1点目に、低学年棟に階段が多く、廊下も狭く感じる。車椅子や低学年への配慮はどうか。2点目に、プールを民間委託してB&G海洋センターを活用するとのことだが、施設が廃止された場合はどうなるのか。3点目に、2025年4月の開校で、校舎は9月利用開始の予定だが、開校は急がなければならないのか。新入生が1学期過ごして少し慣れたところで、2学期から新しい校舎に移動することは、負担が大きいのではないか。子ども達にとっても、先生にとっても負担になると思う。2026年4月ではだめなのか。

《事務局》

廊下の広さについては基準を満たしており、スロープを設置して車椅子利用にも配慮している。B&G海洋センターについては、施設に大きな不具合がない限り、このまま維持されると聞いている。開校時期について様々な意見は聞いているが、全く新しい場所に新築するという事でなければ、4月の引越はハードルが高いと考えている。また、少しでも新しい校舎で過ごして、卒業してもらいたい思いもある。なるべく早い段階で、上級生と触れ合える9年制の環境を作りたい。4月の開校と同時に引越できればよいという事は承知しているが、現時点でのスケジュールでは難しい。

《K委員》

4月の時点で校舎が別々のまま義務教育学校がスタートすると、6・3制ではなくなった場合、学年の段階（ブロック）で校舎が分かれてしまう。職員室も分かれていて、校長先生は一人になる。どうなるのか。

《L委員》

全く新しい校舎でない限りは、必ず引越しの作業があり、引越しをいつするのかという問題がある。4月にスタートするためには、春休みに引越しをすることになるが、人事異動で教職員の勤務先が決まるのも春休み中。教職員も異動で引越し、学校も引越しとなると、相当大変なことになる。引越しの時期については、どこに入ってきてても大変ではあるので、ひとまず今の最短のスケジュールで進めてもらい、その都度変更しながら、出来る準備を進める方がよい。

《P委員》

個人的には少しでも早い方がよいと思う。遅らせることによって、出来ることも出来なくなる恐れがある。

《M委員》

竹野中学校が今の場所に移転した際にも、8月に引越しをした。当時教員として勤務しており、なぜ4月にしないのかと思っていたが、結果夏休みの引越しはありがたかった。校舎が変わるだけなので、生徒も違和感なく過ごしていた。

《G委員》

M委員と同様だが、西町の旧中学校舎から現在の校舎に、生徒と一緒に引越し作業をおこなった。今回は小学校から中学校だが、8月に引越しするのがベストだと思う。中学生も手伝えるので、非常によい経験になると思う。

《事務局》

開校と引越しの時期がズレる件については、地域の方にもしっかりと説明を行い、理解を得られるようにしたい。

《L委員》

これから色々な課題が出てくる。通学方法も変わる。事前に分かっていたら引越しまでの間に準備も出来るし、学校の中でも検討するので、今回のような意見を随時聞かせてもらいたい。

《C委員》

既存の校舎とグラウンドに新築する校舎は地面の高さが異なるが、どちらの高さにあわせるのか。

《事務局》

高さが異なるため、スキップフロアのようになる。低学年棟の1階は半階下がり、2階は半階上がる。

《C委員》

床の高さをあわせて、地下部分を雨天時に使用できるグラウンドにできないか。

《事務局》

仮にそのように施工したとしても、基礎と床の厚みがあるためそこまでの高さが取れないと思われる。

《G委員》

低学年棟に通じる渡り廊下が曲がっているのは意味があるのか。

《事務局》

スロープの長さを確保するために必要。

《B委員》

渡り廊下の角部分について、子ども達が衝突しないよう見通しをよくしてほしい。

以上